⑶　使用しないという決定を行った経緯及び理由

農学部口座については、新キャンパス整備を目的に売却を計画しておりましたが、平成25年10月22日開催の役員会で売却手続きの開始について承認され、一般競争入札を経て平成26年２月26日に売買契約を締結しました。

マテリアル・開発系北実験棟Ｃ棟等については、平成27年度予算事業（実験研究棟Ⅰ（工学系））の支障建物となるため取り壊しを予定しております。

地震・噴火予知研究観測センター本館等については、平成28年度補正予算事業（（青葉山１）地震変動・地震予知研究センター新営その他工事）の支障建物となるため取り壊しを予定しております。

⑷　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

（単位：百万円）

用途	種類	使用しなくなる日における帳簿価額	回収可能サービス価額	減損額（見込額）
土地（農学部口座）	土地	10,944	22,010	―
マテリアル・開発系北実験棟Ｃ棟	建物	10	0	10
マテリアル・開発系南実験棟Ｄ棟	建物	8	0	8
マテリアル・開発系南実験棟Ｅ棟	建物	13	0	13
地震・噴火予知研究観測センター本館	建物	0	0	0
地震・噴火予知研究観測センター別館	建物	0	0	―
地震・噴火予知研究観測センターＡ棟	建物	7	0	7

Ⅵ．金融商品関係

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については（独）大学改革支援・学位授与機構からの借入れに限定しております。資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人法第47条の規定に基づき、国債を保有しております。

また、当法人は産業競争力強化法第22条に基づく出資を行い取得した関係会社株式及びその他の関係会社有価証券を保有しております。

未収附属病院収入は、国立大学法人東北大学債権管理事務取扱細則に沿ってリスク管理を行っております。大学改革支援・学位授与機構債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時　価（＊１）	差　額（＊１）
⑴　投資有価証券	1,648	1,918	269
満期保有目的の債券	1,648	1,918	269
⑵　現金及び預金	30,149	30,149	―
⑶　未収附属病院収入	7,398		
徴収不能引当金（＊２）	△　97		
	7,301	7,301	―
⑷　大学改革支援・学位授与機構債務負担金	(12,396)	(12,990)	(594)
⑸　長期借入金	(23,355)	(24,029)	(673)
⑹　未払金（＊３）	(17,427)	(17,427)	―
⑺　リース債務	(5,699)	(5,716)	(17)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（＊２）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除しております。

（＊３）　未払金はリース債務及びＰＦＩ債務を控除した金額を示しております。

（注１）　金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券

満期保有目的の債券の時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。

⑵　現金及び預金並びに　⑶　未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保証による回収見込額等により、時価を算定しております。

⑷　大学改革支援・学位授与機構債務負担金及び　⑸　長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入れを行った場合に想定される利率で割引く方法により算定しております。

⑹　未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑺　リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割引く方法により算定しております。

（注２）　関係会社株式（貸借対照表計上額60百万円）及びその他の関係会社有価証券（貸借対照表計上額2,109百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため注記しておりません。

Ⅶ．賃貸等不動産関係

当法人は宮城県その他の地域において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。